

<講演要旨> ※無断転載を禁じます

審美修復治療の考え方と実際

～ 1本の歯を構造的に捉え残す治療を検証する～

北原信也

東京都中央区 Team Tokyo 代表
ノブストラティブデンタルオフィス
ノブデンタルオフィス

審美修復治療とは本来修復治療の目的である、**機能、構造、バイオロジー**のすべてが満たされていて**審美**が完成すること、また一人一人違う顔、口腔内でその人に合ったものをオリジナルで構築することである。つまりエビデンスベースでありながらも、個々異なるシチュエーションに対応していくものであるため、一つとして同じ審美修復治療はない。従って、それぞれの複雑な条件をいかに整理していくかがポイントとなるが、この審美修復治療は先に述べた目的を達成することだけではなく、口腔の健康を将来にわたって保つために必要な治療であるため、できるだけ何もせずではなく、必要な治療を積極的に行うこと、つまり昨今言われる MI というよりも OI (Optimal Intervention: 最適な治療介入) ではないかと考える

審美修復治療における基準も整備されてきた現代では、修復治療でその形態を改善する Multi-Disciplinary の考えに基づく治療と、一つ一つの治療の確実性が要求される中で、自身の臨床について考察してみたい。

北原信也 (きたはら のぶや)

1) 略歴

- 1989年 日本大学松戸歯学部卒業
- 1992年 東京都港区にて北原歯科医院開業
- 2000年 東京都中央区にて LUMINESSENCE (ホワイトニング専門) 開院
- 2002年 銀座にノブデンタルオフィス開院
- 2007年 TP DENTAL SURGION (シンガポール) 非常勤歯科医師 (ライセンス取得)
- 2012年 東京八重洲に移転: Team Tokyo (グループプラクティス) 代表 ノブストラティブデンタルオフィス院長

2) 所属学会 スタディーグループ 資格

- 東京 SJCD 理事
- SJCD レギュラーコースインストラクター
- AACD (American Academy of Cosmetic Dentistry) 会員
- 3i インプラント米国公認インストラクター
- 日本歯科医師会、シンガポール歯科医師会会員

3) 講演・発表

- 日本歯科審美学会
- アジア審美学会
- I F E D (世界審美学会)
- その他 多数

4) 著書

- 「審美修復治療のマネジメント」 医歯薬出版 (2011 9月30日発刊 最新)
- 「クリニカルトウスホワイトニング」 医歯薬出版
- 「笑顔が変わる ホワイトニング」 医歯薬出版
- その他 多数